



第 72 号

平成25年11月30日 発行

編集・発行

(一社)新潟県サッカー協会広報委員会

連覇

全国高等学校サッカー選手権新潟県大会 帝京長岡高等学校

全国で日本一を目指す!! 2年連続4回目出場

第92回全国高校サッカー選手権大会
初戦は徳島県代表 徳島市立と対戦決定!

12月31日(火) 第1試合 12:05~
等々力陸上競技場にて試合開始予定



第 92 回全国高校サッカー選手権大会 新潟県大会 試合結果

- 優勝 帝京長岡高等学校
- 準優勝 開志学園 J S C
- 第 3 位 新潟明訓高等学校
- 〃 新潟西高等学校

決勝戦は11月10日(日)東北電力ビッグスワン
スタジアムで行なわれました。

帝京長岡 (5 - 1) 開志学園 JSC



帝京長岡高校

主将 亀井 照太

選手権県予選を終えて、試合が終わった瞬間はあまり実感が湧いてきませんでした。しかし時間がたつにつれて全国大会に出るといふ実感が湧いてきました。

今大会は非常に苦しい試合が続きました。大会全体を通してまだまだ甘い部分が多かったと感じております。

決勝戦では先制点を取るまで一人ひとりの動きが硬かったと思います。先制点が取れてからは動きも良くなり、いつものようなサッカーが出来たと思います。失点した場面についてはしっかりと改善していきたいと思っています。

この決勝戦はチームにとって通過点なので現状に満足せずに日々のトレーニングに取り組みしていきたいと思っています。

昨年の選手権では、悔しい思いをしたので、これからの一か月半で更に成長し、昨年以上の成績を残したいと思っています。

新潟県の代表校という自覚を持ちピッチの中だけでなく常日頃から緊張感を持った行動を心掛けて全国大会に挑みたいと思います。そして一試合一試合を大切に戦い確実に勝利をつかみ取り、帝京長岡のサッカーで日本一を目指したいと思っています。

高円宮杯 第 25 回 全日本ユース (U-15) サッカー選手権大会

アルビレックス新潟ジュニアユース出場!!

高円宮杯 U-15

北信越地域リーグ 結果

第 1 位 アルビレックス新潟ジュニアユース

第 3 位 FC 五十嵐

第 8 位 長岡 J Y F C

高円宮杯 U-15

全国大会に向けて

アルビレックス新潟
ジュニアユース監督

岡本 歴大

今回、高円宮杯全国大会に出場するにあたり、たくさんの皆様にご支援をいただき、心より感謝しております。今年度より、北信越地域の出場枠が3枠に増え(昨年は2枠)全国大会出場への可能性が高くなったものの、やはり熾烈なリーグ戦となりました。

リーグ戦 17・18 節(最終節)と上位2チームとの直接対決を残しており、最後まで気の抜けない戦いとなりました。

残り2節を1勝1引き分けて乗り切り、苦しみながらもリーグ戦1位(優勝)で代表権を勝ちとることができました。

チームは夏の悔しさ(クラブユース県予選敗退)をバネに個のレベルアップ、そしてリーグ戦優勝(高円宮杯全国大会出場)を目標に頑張ってきました。そこには、下級生の頑張り

はもちろん、3年生の底力を感じることができました。

全国大会まで約1ヶ月、個のレベルアップの継続。そして、さらなる上を目指して、頑張りたいと思います。

最後になりましたが、全国大会では新潟県の代表として、自覚と誇りを持って、戦ってきたと思います。



東京国体報告

技術委員会委員長 丸山 有一

去る 9 月 30 日より、東京都において第 68 回国民体育大会「スポーツ祭東京 2013」が開催され、本県は昨年同様少年男子、女子の 2 種別が北信越国体を突破し本大会に出場しました。はじめに、各方面において強化活動にご尽力、ご協力いただきましてすべての皆様に感謝とお礼を申し上げます。

以下、簡単ではありますが、本県での戦いぶり、各種別における現状、課題等を報告させていただきます。

はじめに少年ですが、少年はアルビレックス新潟ユース、新潟明訓高校の選手を主体としたチーム編成で、例年になく充実したチーム力となり、大いに期待されました。しかしながら 1 回戦、愛知県と対戦し延長、PK の末惜しくも敗退しました。ゲーム内容は非常に拮抗し、決定的チャンスも幾度も演出しましたが、相手の粘り強い守備、運もあって、勝ち越しのゴールをあげることはできませんでした。近年の課題である個人のプレーの質も高く、多くの時間でゲームの主導権を握っていただけに非常に残念な結果となりま

した。このゲームにおいてだけみれば、勝利への執念、勝ちへの執心が課題となりました。また、あえて厳しい見方をすれば、ボールは支配できず、選手が常にゲーム全体をみて、どこをどう攻略すれば効果的なのか、流れの中で刻々と変わるゲーム状況の中で攻守においてチーム全体でどう対処するのかなどはまだ未熟であり、選手、指導者のサッカー観、サッカー理解をもっと深めていく必要性を感じました。とはいえ、着実な進歩は大いに感じられ、あと一歩、追求していく勇氣をもったような気がしています。これからの県レベルでの選手育成をトレーニング活動等中心として、鹿児島県に延長戦の末 1 対 2 で惜敗しました。単純なミスも多く、なかなかボールが思うようにつながらず、苦しい戦いだったという印象でした。対する鹿児島は社会人と高校生をミックスし、

若い選手が豊富な運動量で躍動しているのが印象的でした。昨年は JAPAN サッカーカレッジの選手も含まれていましたが、今年度はリーグ戦の日程等の問題から招集されませんでした。これらのチーム編成も今後の課題ではないかと思えます。また、それだけでなく、鹿児島県のように、下の年代からの選手育成、強化も大切な課題であり、技術委員会としても女子委員会と連携し、環境整備、指導者の配置等、様々な課題に取り組みしていきたいと思えます。種別や連盟、地区を越え

編成で強化していますが、昨年に残念ながら本県への出場権を得ることは出来ませんでした。近年は、本県出身の関東強豪大学等で活躍する選手も出てきています。また、県内大学の戦力も上がってきていることから、今後は、社会人連盟や大学連盟等と連携をより深め、強化に当たっていききたいと思えます。昨年ここで触れませんが、「停滞は後退」を肝に銘じ、1、2 年の結果でぶれることなく、今後も地に足を付けた強化を継続して行きたいと考えています。県の強化に関わるすべての皆様には、種別や連盟、地区を越え

最後に成年男子ですが、ここ数年、JAPAN サッカーカレッジを主体としたチーム

若い選手が豊富な運動量で躍動しているのが印象的でした。昨年は JAPAN サッカーカレッジの選手も含まれていましたが、今年度はリーグ戦の日程等の問題から招集されませんでした。これらのチーム編成も今後の課題ではないかと思えます。また、それだけでなく、鹿児島県のように、下の年代からの選手育成、強化も大切な課題であり、技術委員会としても女子委員会と連携し、環境整備、指導者の配置等、様々な課題に取り組みしていきたいと思えます。種別や連盟、地区を越え

若い選手が豊富な運動量で躍動しているのが印象的でした。昨年は JAPAN サッカーカレッジの選手も含まれていましたが、今年度はリーグ戦の日程等の問題から招集されませんでした。これらのチーム編成も今後の課題ではないかと思えます。また、それだけでなく、鹿児島県のように、下の年代からの選手育成、強化も大切な課題であり、技術委員会としても女子委員会と連携し、環境整備、指導者の配置等、様々な課題に取り組みしていきたいと思えます。種別や連盟、地区を越え

若い選手が豊富な運動量で躍動しているのが印象的でした。昨年は JAPAN サッカーカレッジの選手も含まれていましたが、今年度はリーグ戦の日程等の問題から招集されませんでした。これらのチーム編成も今後の課題ではないかと思えます。また、それだけでなく、鹿児島県のように、下の年代からの選手育成、強化も大切な課題であり、技術委員会としても女子委員会と連携し、環境整備、指導者の配置等、様々な課題に取り組みしていきたいと思えます。種別や連盟、地区を越え

若い選手が豊富な運動量で躍動しているのが印象的でした。昨年は JAPAN サッカーカレッジの選手も含まれていましたが、今年度はリーグ戦の日程等の問題から招集されませんでした。これらのチーム編成も今後の課題ではないかと思えます。また、それだけでなく、鹿児島県のように、下の年代からの選手育成、強化も大切な課題であり、技術委員会としても女子委員会と連携し、環境整備、指導者の配置等、様々な課題に取り組みしていきたいと思えます。種別や連盟、地区を越え

若い選手が豊富な運動量で躍動しているのが印象的でした。昨年は JAPAN サッカーカレッジの選手も含まれていましたが、今年度はリーグ戦の日程等の問題から招集されませんでした。これらのチーム編成も今後の課題ではないかと思えます。また、それだけでなく、鹿児島県のように、下の年代からの選手育成、強化も大切な課題であり、技術委員会としても女子委員会と連携し、環境整備、指導者の配置等、様々な課題に取り組みしていきたいと思えます。種別や連盟、地区を越え

若い選手が豊富な運動量で躍動しているのが印象的でした。昨年は JAPAN サッカーカレッジの選手も含まれていましたが、今年度はリーグ戦の日程等の問題から招集されませんでした。これらのチーム編成も今後の課題ではないかと思えます。また、それだけでなく、鹿児島県のように、下の年代からの選手育成、強化も大切な課題であり、技術委員会としても女子委員会と連携し、環境整備、指導者の配置等、様々な課題に取り組みしていきたいと思えます。種別や連盟、地区を越え

若い選手が豊富な運動量で躍動しているのが印象的でした。昨年は JAPAN サッカーカレッジの選手も含まれていましたが、今年度はリーグ戦の日程等の問題から招集されませんでした。これらのチーム編成も今後の課題ではないかと思えます。また、それだけでなく、鹿児島県のように、下の年代からの選手育成、強化も大切な課題であり、技術委員会としても女子委員会と連携し、環境整備、指導者の配置等、様々な課題に取り組みしていきたいと思えます。種別や連盟、地区を越え

若い選手が豊富な運動量で躍動しているのが印象的でした。昨年は JAPAN サッカーカレッジの選手も含まれていましたが、今年度はリーグ戦の日程等の問題から招集されませんでした。これらのチーム編成も今後の課題ではないかと思えます。また、それだけでなく、鹿児島県のように、下の年代からの選手育成、強化も大切な課題であり、技術委員会としても女子委員会と連携し、環境整備、指導者の配置等、様々な課題に取り組みしていきたいと思えます。種別や連盟、地区を越え

若い選手が豊富な運動量で躍動しているのが印象的でした。昨年は JAPAN サッカーカレッジの選手も含まれていましたが、今年度はリーグ戦の日程等の問題から招集されませんでした。これらのチーム編成も今後の課題ではないかと思えます。また、それだけでなく、鹿児島県のように、下の年代からの選手育成、強化も大切な課題であり、技術委員会としても女子委員会と連携し、環境整備、指導者の配置等、様々な課題に取り組みしていきたいと思えます。種別や連盟、地区を越え

若い選手が豊富な運動量で躍動しているのが印象的でした。昨年は JAPAN サッカーカレッジの選手も含まれていましたが、今年度はリーグ戦の日程等の問題から招集されませんでした。これらのチーム編成も今後の課題ではないかと思えます。また、それだけでなく、鹿児島県のように、下の年代からの選手育成、強化も大切な課題であり、技術委員会としても女子委員会と連携し、環境整備、指導者の配置等、様々な課題に取り組みしていきたいと思えます。種別や連盟、地区を越え

若い選手が豊富な運動量で躍動しているのが印象的でした。昨年は JAPAN サッカーカレッジの選手も含まれていましたが、今年度はリーグ戦の日程等の問題から招集されませんでした。これらのチーム編成も今後の課題ではないかと思えます。また、それだけでなく、鹿児島県のように、下の年代からの選手育成、強化も大切な課題であり、技術委員会としても女子委員会と連携し、環境整備、指導者の配置等、様々な課題に取り組みしていきたいと思えます。種別や連盟、地区を越え

若い選手が豊富な運動量で躍動しているのが印象的でした。昨年は JAPAN サッカーカレッジの選手も含まれていましたが、今年度はリーグ戦の日程等の問題から招集されませんでした。これらのチーム編成も今後の課題ではないかと思えます。また、それだけでなく、鹿児島県のように、下の年代からの選手育成、強化も大切な課題であり、技術委員会としても女子委員会と連携し、環境整備、指導者の配置等、様々な課題に取り組みしていきたいと思えます。種別や連盟、地区を越え

若い選手が豊富な運動量で躍動しているのが印象的でした。昨年は JAPAN サッカーカレッジの選手も含まれていましたが、今年度はリーグ戦の日程等の問題から招集されませんでした。これらのチーム編成も今後の課題ではないかと思えます。また、それだけでなく、鹿児島県のように、下の年代からの選手育成、強化も大切な課題であり、技術委員会としても女子委員会と連携し、環境整備、指導者の配置等、様々な課題に取り組みしていきたいと思えます。種別や連盟、地区を越え

若い選手が豊富な運動量で躍動しているのが印象的でした。昨年は JAPAN サッカーカレッジの選手も含まれていましたが、今年度はリーグ戦の日程等の問題から招集されませんでした。これらのチーム編成も今後の課題ではないかと思えます。また、それだけでなく、鹿児島県のように、下の年代からの選手育成、強化も大切な課題であり、技術委員会としても女子委員会と連携し、環境整備、指導者の配置等、様々な課題に取り組みしていきたいと思えます。種別や連盟、地区を越え

若い選手が豊富な運動量で躍動しているのが印象的でした。昨年は JAPAN サッカーカレッジの選手も含まれていましたが、今年度はリーグ戦の日程等の問題から招集されませんでした。これらのチーム編成も今後の課題ではないかと思えます。また、それだけでなく、鹿児島県のように、下の年代からの選手育成、強化も大切な課題であり、技術委員会としても女子委員会と連携し、環境整備、指導者の配置等、様々な課題に取り組みしていきたいと思えます。種別や連盟、地区を越え



●●スマイル&チャレンジ●●

当協会にご支援いただいている法人各社

TONY テレビ新潟 BSN新潟放送 新潟日報
東北電力 総合生協 新潟県信用基金協会

2007 年宣言の実現のため諸事業に取り組んでいます!!

東日本大震災 復興支援

がんばろうニッポン!

サッカーファミリーのチカラをひとつに!

中越

2013 フットボールデー

「JFAフットボールデー2013 in十日町市」を開催して

中越地区サッカー協会 副会長 若山 裕
(十日町市サッカー協会 理事長)

9月8日(日)に本年もクロアチアピッチにて「JFAフットボールデー2013 in 十日町市」を、サッカーをこよなく「する人」「観る人」「支える人」そして「応援する人」を対象とし開催致しました。

本年は3部構成とし、1部は「AED救急講習会」を十日町市消防救急隊の協力により5名が受講され、初期対応から機器使用に至るまでをダミーを使い実体験しました。実は今年2月にフットサル愛好者が練習中に倒れ尊い命が絶たれました。生活空間の中でいつ・誰かが遭遇するかもしれない今日です。今後も「AED救急講習会」は継続開催の予定です。

2部は「サッカーフェスティバル」を地元シニア愛好者を中心とし市外チームとの交流戦を実施し、好プレイ・珍プレイに大きな拍手が響きわたっていました。

3部は「なでしこキッズサッカースクール」と称し、親子でサッカーを通してスポーツの楽しさを知ってもらう内容で、手つなぎサッカーや複数ゴールでの試合でしっかりと親子の絆を確認し、2時間という時間が足りないほどの満面の笑みでスクールは終了しました。

そして最後に、参加者全員でささやかですがバーベキューを行い、一日の感動や好プレイや珍プレイを思い出しながら語りあい、来年も開催を望む声が多くありました。多くの方々のご協力を得ての楽しいフットボールデーは無事に終了しました。



上越

2013 フットボールデー

フットボールデーを開催して

上越地区 理事長 室橋 丈司

県内外の小学生(五年生以下)が熱戦を繰り広げる「2013年度上越フットボールデー少年サッカー大会」(8人制)を8月31日・9月1日に新井運動公園にて開催しました。

大会には24チームが参加し一次リーグ・二次リーグを経て、順位決定戦を戦いました。12チームの県外チームを招待し、約500名の選手がグラウンドを駆けまわりました。

決勝は、エスプリ長岡(中越)と直江津サッカースポーツ少年団(上越)が激突。前半からエスプリ長岡の圧倒的試合展開となりましたが、後半に直江津サッカースポーツ少年団が1得点を挙げ、粘る直江津を自力に勝るエスプリ長岡が6-1で退けました。

初日は暑く、2日目は雨天の大会となり、子どもたちにとって忘れられない大切な思い出となったと確信しています。また、来年6年生となり、心も体も技術も大きく成長した姿に出会えることを期待しています。

参加していただいたチームの皆さん、運営に協力いただいた上越地区の関係各位には、紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。



女子委員会審判部より

女子委員会審判担当

田中 雄一

現在、県内で登録している女子審判員は98名います。その内訳は2級3名、3級10名、4級85名となっておりますが、登録数および3級以上の審判員の数は、どちらもまだまだ少ないというのが現状です。また北信越地域としてみても、全国で唯一女子1級審判員不在地域であることなどから女子審判員の育成に力を入れていく必要があると見られます。女子審判員の育成には、まずは裾野を広げることが必要であるため昨年は女子だけを対象にした資格認定講習会を開催しました。今年も女子だけの3級昇級講習会および女子審判トレンスを開催しました。

3級昇級講習会は9月8日、アルビレツジで行い、参加者は3名と少なかつたですが、筆記および体力テスト、実技講習に意欲的に取り組んでいました。女子審判トレンスは9月23日にアルビレツジおよび聖籠緑地で行い、またユモアを交えての指導でした。女子審判トレンスは、JFAが女子審判員の普及および育成のために各県に審判インストラクターを派遣して競技規則の説明、審判技術の指導を行うもので、新潟県は初めて開催しました。当日は、講師にJFA A1級審判員インストラクターの佐幸欣治氏をお迎えし、4級認定者13名と4級更新者3名と受講していただきました。



筆記および体力テスト、実技講習に意欲的に取り組んでいました。女子審判トレンスは9月23日にアルビレツジおよび聖籠緑地で行い、またユモアを交えての指導でした。女子審判トレンスは、JFAが女子審判員の普及および育成のために各県に審判インストラクターを派遣して競技規則の説明、審判技術の指導を行うもので、新潟県は初めて開催しました。当日は、講師にJFA A1級審判員インストラクターの佐幸欣治氏をお迎えし、4級認定者13名と4級更新者3名と受講していただきました。

の16名で実施しました。午前はアルビレツジで競技規則の説明を、午後からは聖籠緑地に場所を移し、審判実技の指導をしていただき、非常に分かりやすく、またユモアを交えての指導でしたので参加者も楽しく受講することができたと思います。来年以降も継続して開催していこうと思います。

女子審判トレンスは、JFAが女子審判員の普及および育成のために各県に審判インストラクターを派遣して競技規則の説明、審判技術の指導を行うもので、新潟県は初めて開催しました。当日は、講師にJFA A1級審判員インストラクターの佐幸欣治氏をお迎えし、4級認定者13名と4級更新者3名と受講していただきました。

第二十五回全国レディース大会・北信越大会に参加して

FCジュエル 菊地 千恵

第二十五回全国レディース大会・北信越大会が十月五日〜六日にグランセナ新潟サッカースタジアムで開催されました。女子サッカーの普及が第一の目的であるため、ピッチの外では自県の特産物などの交換が行われ、和やかな雰囲気で試合は進んでいきます。また、大会の参加資格は三十歳以上ですが、試合には三十歳以下の出場が二名までは認められています。二五分ハーフで選手交代は自由となっています。

女子サッカーの普及が第一の目的であるため、ピッチの外では自県の特産物などの交換が行われ、和やかな雰囲気で試合は進んでいきます。また、大会の参加資格は三十歳以上ですが、試合には三十歳以下の出場が二名までは認められています。二五分ハーフで選手交代は自由となっています。

「チーム一丸となって戦う！」

アルビレックス新潟レディースU-18 主将 瀧澤 莉央



初戦は優勝した長野県代表に前半は0-2と善戦したものの、実力の差が出て0-5で完敗でした。しかし、県代表として気持ちを切り直す事なく、走り、戦いきることが出来た事が一番の収穫でした。(優勝は長野県、準優勝は石川県で二チームが全国大会に出場)

初戦は優勝した長野県代表に前半は0-2と善戦したものの、実力の差が出て0-5で完敗でした。しかし、県代表として気持ちを切り直す事なく、走り、戦いきることが出来た事が一番の収穫でした。(優勝は長野県、準優勝は石川県で二チームが全国大会に出場)



ニングを多く取り入れ、カラダづくりにも力を入れてきました。全国大会まであと2ヶ月、全国の舞台で十分に力を発揮できるように良い準備をして、チーム一丸となって頑張りたいと思います。

2ヶ月、全国の舞台で十分に力を発揮できるように良い準備をして、チーム一丸となって頑張りたいと思います。そして、全国大会では、最後まで決して諦めず、1戦1戦全力で戦い、貪欲にゴールを目指し、勝利をつかみとりまします。どうぞ応援をよろしくお願いいたします。



中越地区女子サッカー活動報告

中越地区女子委員長 清水 建志

中越地区では普及活動の一環として、長岡市陸上競技場にて「NIFAレディースエンJOYサッカーフェスティバル」を5月12日に行いました。毎年開催しているこのフェスティバルは県内の盛んに活動しているレディース(20代〜40代)のエンJOYクラス。競技志向な選手で構成されたチームの一般クラス。その他に、U-15・U-12クラスの計4クラスでフットサル形式のミニゲームのリーグ戦を行い順位決定を行いました。

中越地区では普及活動の一環として、長岡市陸上競技場にて「NIFAレディースエンJOYサッカーフェスティバル」を5月12日に行いました。毎年開催しているこのフェスティバルは県内の盛んに活動しているレディース(20代〜40代)のエンJOYクラス。競技志向な選手で構成されたチームの一般クラス。その他に、U-15・U-12クラスの計4クラスでフットサル形式のミニゲームのリーグ戦を行い順位決定を行いました。

全国大会へ向けて

開志学園JAPANサッカーカレッジ高等学校 主将 濱田 百華

10月12日から開催された第22回全日本高等学校女子サッカー選手権大会において、開志学園JAPANサッカーカレッジは、初の出場ながら準優勝という成績をおさめ、1月10日から行われる全国大会に出場することが決まりました。

10月12日から開催された第22回全日本高等学校女子サッカー選手権大会において、開志学園JAPANサッカーカレッジは、初の出場ながら準優勝という成績をおさめ、1月10日から行われる全国大会に出場することが決まりました。

をみせていました。さらに帯同イベントとしてJFAアンバサダーの元でJFA PANAの川上直子氏、元Jリーガー平瀬智行氏を招き、各カテゴリー選抜チームとのエキシビジョンマッチ、アンバサダーによるサッカースクールを行います。

中越地区ではこのようにイベントを通してサッカーの楽しさを伝え、それをプレーする選手、応援するサポーターが楽しめる場を提供し続けていきます。3月には毎年恒例のみしま体育館で行われるJFAレディース/ガールズ大会にさらなる一体感を生んだと思います。全国大会に向けて、顔を新潟に帰ってきてほしいです。応援よろしくお願

をみせていました。さらに帯同イベントとしてJFAアンバサダーの元でJFA PANAの川上直子氏、元Jリーガー平瀬智行氏を招き、各カテゴリー選抜チームとのエキシビジョンマッチ、アンバサダーによるサッカースクールを行います。



キッズ委員会の活動報告

キッズ委員会委員長 堀澤 清

JFA
グラスルーツ
フェスティバル
2013新潟

日頃より各種別の皆様からはキッズ委員会（参加者450名）との活動にご協力いただきありがとうございます。

スタも9回目を迎え、参加チームも40チーム（参加者450名）と

U-10のカテゴリーで開催し、普及活動から育成活動につながるチーム（参加者）となりました。

2013年11月10日（日）に吉田ふれあい広場にてJFAグラスルーツフェスティバル2013新潟が開催されました。

学児をイメージされる方も多いかと思いますが、キッズ委員会ではキッズ年代である10歳以下の子どもたちを対象とした活動を行って

サッカークラブを普及し、都道府県内での普及活動を担う仲間としてJクラブ普及担当

が、キッズ委員会の活動を紹介させていただきます。今後とも活動へのご協力をよろしくお願いたします。

FIFAのメソッドを学ぶ機会（FIFAグラスルーツセミナー）

活動は巡回指導・Tennis・U-6キッズフェスタ、JFAキッズフェスティバル、エリートプログラムや各地区での活動を中心に

サッカーの普及活動と並行してエリートプログラムによるサッカークラブの普及

が、キッズ委員会の活動を紹介させていただきます。今後とも活動へのご協力をよろしくお願いたします。

当日はあいにくの天候となりましたが、



第8回全国ビーチサッカー大会に参加して

ペレ・デラロコ/新潟B.S代表 近野 翔太

10月18日（金）、19日（土）、20日（日）沖縄県宜野湾市トロピカルビーチで行われた第8回全国ビーチサッカー大会に北信越代表として参加して参りました。

私達ペレ・デラロコ/新潟B.Sは新潟市内海岸を中心に「ビーチサッカー」をプレーする目的で結成したチームです。他の海のレジャーをされる方々との共存を目指し、主に早朝にトレーニングを実施し、技術向上及び全国大会出場を目指して参りました。

そして結成3年目となる今年、北信越大会で優勝し、悲願の全国大会出場の切符を掴むに至りました。

本大会には各地域の予選を勝ち上がった計16チームが参加し、事前の抽選により、我々はグループB「ドルソーレ北九州（九州第1代表）」「高知大学体育会サッカー部（四国第2代表）」「湘南スプリングス（関東第2代表）」「いづれも過去に全国大会出場経験のある強豪チームが揃った。

大会当日、会場に到着した瞬間、まずロケーションの素晴らしさに魅了されました。青い海、白い砂浜、音響設備（ビーチ

サッカーは試合中音楽を鳴らしながら試合を行います）、最高峰の舞台で戦えることを実感し、メンバー一同大変感動しました。大会の結果は、第一試合：ドルソーレ北九州 3-8、第二試合：高知大学体育会サッカー部 5-4、第三試合：湘南スプリングス 1-5、4-6

1勝2敗でグループ3位：悲願の1勝は何とか果たすことが出来ました。目標であった決勝トーナメント進出は成りませんでした。1年間様々な工夫を凝らしてビーチサッカーに取組んできましたが、まだまだ全国トップレベルには砂上の楼閣に過ぎないと感じました。

新潟では11月以降雪が降ると砂浜でのトレーニングは難しくなるといわれています。長いオフ期間を過ぎなければいけないのが現実です。このままでは北信越のビーチサッカーは冬を過ごす度にインフラが整っていない地域に差を付けられてしまうのではないかと大変脅威を感じました。

ですが、地道にビーチサッカーの輪を広げ、同時進行でインフラ整備の可能性を模索していけば、近い将来新潟から日本一を目指すようなチームを生み出すことも十分可能性があると思われました。

認知度・競技人口数もまだまだのビーチサッカーですが、幸運なことに

新潟にはプレー出来る砂浜があります。この記事を讀んでもしビーチサッカーに興味を持って頂けるなら、下越では「ペレ・デラロコ」中越では「アクア・モルセーゴ」がビーチサッカーを出来る環境を微力ながら模索しています。まだまだ始まったばかりの新潟ビーチサッカーシーンを一緒に盛り上げていきませんか？日本海を背景に裸足でボールを蹴る爽快感に格別です。

是非様々な方と砂浜でお会い出来るのを楽しみに、今後も新潟でビーチサッカーチームとして活動を続けていきたいと思います。今回参加させて頂いた関係者各位に心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございます。



● Kickoff が変わります Jフットボール制度改定について

JFAは、かねてより「チーム登録」への移行が JFA Web 登録サイト「Kickoff」を 2014 年度の 4 月のリニューアルを目標として作業を進めてきました。背景には、サッカーファミリー拡大による登録関連業務の負担増加があります。

現在の、「個人選手登録」があり、大会毎にチームに加入し出場する「個人選手登録」から「チーム登録」へ移行し、選手はチームに所属することとなります。

2013 年度少女サッカーと異なるカテゴリーごとの管理が一元的に管理できるようになります。

2014 年度少女サッカーの登録は、3月8日か F A I D 取得は必須とされ、2月頃から取得できるよう計画されています。選手については、2014 年度の取得は任意となります。

2013 年 11 月 30 日、全日本大学選手権出場をかねて関東 6 チームと対戦

2013 年 11 月 4 日 (月) 一回戦 11月4日(月) 味の素フィールド西が丘 アルビレックス新潟 ユース

2013 年 11 月 10 日 (日) 二回戦 11月10日(日) 東京ガス深川グラウンド アルビレックス新潟 ユース

2013 年 11 月 17 日 (日) 準々決勝 11月17日(日) 味の素フィールド西が丘 アルビレックス新潟 ユース

2013 年 11 月 24 日 (日) 準決勝 11月24日(日) JAPAN サッカー カレッジ

2013 年 11 月 30 日 (土) 決勝 11月30日(土) JAPAN サッカー カレッジ

制度の改訂では、登録概念上は別であるサッカーとフットサルを登録制度において同一で扱い利便性を図ること、サッカーチームのフットサル登録を優遇することと普及につなげたいとの考えがあるようです。女子においては、特に少女世代の試合経験の増加を目指した種別変更が行われております。

これらの変更を網羅する形でシステムが、まだまだ改訂の途上にあります。JFA では、今後も一層情報展開を行うとのことですが、まずは登録制度の変更をお願いいたします。

2014 年 3 月末に廃止されます(現行システムでの申請終了は 3 月 14 日の予定)。

「個人登録」は、2014 年 4 月 1 日より新システムにて開始となります。

現行システムからの選手情報の引継ぎはされません。全ての「個人登録」から「個人登録」へ移行する。

2013 年 11 月 30 日、全日本大学選手権出場をかねて関東 6 チームと対戦

2013 年 11 月 4 日 (月) 一回戦 11月4日(月) 味の素フィールド西が丘 アルビレックス新潟 ユース

2013 年 11 月 10 日 (日) 二回戦 11月10日(日) 東京ガス深川グラウンド アルビレックス新潟 ユース

2013 年 11 月 17 日 (日) 準々決勝 11月17日(日) 味の素フィールド西が丘 アルビレックス新潟 ユース

2013 年 11 月 24 日 (日) 準決勝 11月24日(日) JAPAN サッカー カレッジ

2013 年 11 月 30 日 (土) 決勝 11月30日(土) JAPAN サッカー カレッジ

2013 年 11 月 30 日 (土) 決勝 11月30日(土) JAPAN サッカー カレッジ

2013 年 11 月 30 日 (土) 決勝 11月30日(土) JAPAN サッカー カレッジ

2013 年 11 月 30 日 (土) 決勝 11月30日(土) JAPAN サッカー カレッジ

1、フットサル 「個人登録」から「個人登録」へ移行する。

2、女子種別区分の変更

3、移籍承諾番号の廃止

4、JFA I D の発行

5、個人情報管理の強化

6、今後の情報展開

① 2014 年度よりフットサル登録制度は、現行の「大会毎のチーム登録+個人登録」から「加盟登録チーム」へ移行し、選手はチームに所属することとなります。

② 2013 年度少女サッカーと異なるカテゴリーごとの管理が一元的に管理できるようになります。

③ 2014 年度少女サッカーの登録は、3月8日か F A I D 取得は必須とされ、2月頃から取得できるよう計画されています。選手については、2014 年度の取得は任意となります。

④ フットサル加盟チームの種別

・フットサル第1種(一般) 年齢を制限しない選手により構成(登録抹消が完了して)

・フットサル第2種(U-18) 18歳未満の選手により構成(高番号なしに移籍が可能になる)

・フットサル第3種(U-15) 15歳未満の選手により構成(中籍登録申請)を新設し区分する。

・フットサル第4種(U-12) 12歳未満の選手により構成(小学校在学中を含む)

・未処理の移籍元チームに「抹消依頼通知」が届き、抹消申請を促すこととなる。

現在、登録システムは、JFA によりセキュリティ機能が構築されています。しかし、チーム代表者・選手及び審判員等の個人情報当協会に属するサッカー関係者のもの管理強化が求められます。

今後、順次情報を開示してまいります。ご確認等よろしくお願いたします。

第41回北信越大学サッカーリーグ

11月5日現在 (全日程終了)

一部リーグ

2位 新潟経営大学

4位 新潟医療福祉大学

8位 新潟大学

新潟経営大学は11月30日、全日本大学選手権出場をかねて関東6チームと対戦

2013 年 11 月 4 日 (月) 一回戦 11月4日(月) 味の素フィールド西が丘 アルビレックス新潟 ユース

2013 年 11 月 10 日 (日) 二回戦 11月10日(日) 東京ガス深川グラウンド アルビレックス新潟 ユース

2013 年 11 月 17 日 (日) 準々決勝 11月17日(日) 味の素フィールド西が丘 アルビレックス新潟 ユース

2013 年 11 月 24 日 (日) 準決勝 11月24日(日) JAPAN サッカー カレッジ

2013 年 11 月 30 日 (土) 決勝 11月30日(土) JAPAN サッカー カレッジ

大会参加者募集

【名称】 JFA レディース/ガールズサッカーフェスティバル～第7回女子初蹴りフットサルフェスティバル～

【主催】 (一社) 新潟県サッカー協会

【種別】 女子 U-12 の部、女子一般の部

【期日】 U-12、一般の部 2014 年 1 月 11 日 (土)・13 日 (祝・月)

【会場】 未定

【募集数】 ◆U-12 の部 (10 チーム)
◆一般の部 (12 チーム)
※応募数多数の場合 抽選

【問合せ先】 女子委員会新潟地区委員長 佐野 sas@nskakusei.co.jp

【締切】 2013 年 12 月 20 日 (金)

新潟の原石!! 輝く成果!!

第 11 回 しんきんカップ

第 21 回 新津カップ

○しんきんカップ第 11 回新潟県キッズサッカー大会決勝トーナメント
平成 25 年 9 月 28 日 (土)、29 日 (日)
新潟県スポーツ公園・東北電力ビッグスワン
決勝 グランセナ新潟FCジュニア 1-0 アルビレックス新潟ジュニア
優勝 グランセナ新潟FCジュニア
準優勝 アルビレックス新潟ジュニア
第 3 位 k F 3、ジェス新潟東SC

○第 21 回新津カップ新潟県少年サッカー選手権大会 決勝トーナメント
平成 25 年 10 月 27 日 (日) 新津金屋運動広場
決勝 FC大和 3-0 長岡JY
○第 21 回新津カップ新潟県少年サッカー5年生大会 決勝トーナメント
平成 25 年 10 月 27 日 (日) 阿賀野川水辺プラザ
決勝 長岡JY 3-1 エスプリ長岡



この度、第11回しんきんカップ新潟県大会で、本チームは優勝という結果を残す事が出来ました。大会を運営して頂きました関係者

新潟県大会を終えて
グランセナ新潟FCジュニア 監督 村田 桂
このチームを3年生の時から担当して約1年半。大きな目標であった貴大会を優勝する事が出来て本当に嬉しう思います。3年

は個性のスキルアップに時間をかけ、4年時はそれに加えてチームでサッカーが出来る様子を積み重ねてきた。優勝出来た事は本当に素晴らしい事です。でも

の皆様及び本チームへのご支援とご協力をして頂きました関係者の皆様に深く感謝申し上げます。本大会にありが



た試合に勝ちきる事が出来た。選手達の吸収力も良く、日に日に成長していき姿を観る事が出来た。ただ、このチームには、「競った試合に勝ちきる事が出来た」という大きな課題がありま

「持っていた」
FC大和監督 清水 昭博
第二十一回新津カップでは、何れも「ツキ」とか「運」とか、実力以外の部分に恵まれました。昨秋の5年生大会では優勝したものの、北信越大会では新潟勢が上位独占した中で四位、今春の全少大会でも同じ4チームの中で、準決、三決と大敗し、上位三チームに對してどうしようもないコンプレックスが私の中に存在した。シーズンではよくあるが、各地区の代表がきまり、本大会の組合せが決定した段階で二



つもの「ツキ」を感じました。「あのチームがない」「あそこある」が一次予選でぶつかるとは。三つ目は一次予選の試合順。事前に無策でスタミナを削られていた。ベンチが対応しようにしても選手がトシたら大敗したに違いない。ベンチが対応しようとしても選手がゲーム中に対応しきれない。作戦参謀と対応してくれた選手に脱帽でした。決勝戦でも私の予想以上の力を出してくれました。すべてが「運任せ」みたいで、不謹慎な考え方もありませんが、サッカーを続けていく上で大事なこととも思っています。選手や保護

あきらめない!
FC大和 種村 元太
僕は、夏の初めに鎖骨を骨折してしまいました。サッカーをしたくても出来ず心が折れそうでした。その時、いろいろな人がたくさん励ましてくれました。出来ない時間があつたから、サッカーが大好きな事、仲間や家族がいるからサッカーが出来る事、どんな時でもあきらめない事、身体が大事な事などを考える事が出来ました。



第21回 新津カップ

新春・講話とトークショー

期日 平成26年1月19日(日)

会場 新潟グラントホテル 講和・トークショー

5階【常盤の間】
新年会 3階【悠久の間】

1、講話会 (14時5分~15時)
NHKサッカー解説者 山本昌邦氏

「日本代表はブラジルW杯でどこまで戦えるか」

2、トークショー (15時10分~15時50分)
アルビレックス新潟選手とのトークショー

3、報告と来期の抱負 (15時50分~16時10分)
アルビレックス新潟、アルビレックス新潟レディースの両監督を迎え、今期報告と来期抱負をお聞きする予定

4、新年会 (16時30分~18時30分)

NiFA マスタープラン 2007 スタート

(一社) 新潟県サッカー協会は、英団名 Niigata Football Association の名称を従来の NFA から NiFA に変更し、これを「ニファ」と改称します。

また、新たなスタートを切る NiFA を象徴するシンボルマークを作成。4本の旗は新設、上旗、中旗、下旗の4地区協会を表し、新設旗の形も示しています。そして4地区協会の協賛による新たなサッカーをCOSAに引き継ぐサッカーボールで実現しました。さらに旗のデザインは新潟の空と海、地域に親しみやすいNFAを表しています。NFAはさまざまなシーンでこのシンボルマークを使用していきます。

NiFAの理念
サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創出し、県民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

NiFAのビジョン
1 新潟県におけるサッカーの普及に努め、全ての県民がサッカーに親しみ楽しむことを目指す。
2 新潟県サッカー協会、ユースチームの健全な発展を促すこと。県の発展に貢献する選手を輩出する。
3 新潟県を代表するチームの日本代表の活躍を応援し、サッカーの普及に努め、新潟県はサッカーの王国であること。県民に愛され、県民の心を豊かにする。
4 新潟県サッカー協会の発展を促し、国内のサッカー界に貢献する。

NiFAの目標 2015
2015年には、健全でゆめをこめぬ組織となり、6つの目標を達成する。
①新潟県サッカー協会に10以上のクラブチームを創出する。
②新潟県サッカー協会の健全な発展を促すこと。県の発展に貢献する選手を輩出する。
③JFLに加盟するチームを増やす。
④サッカーの普及に努め、県民の心を豊かにする。
⑤新潟県サッカー協会の発展を促し、国内のサッカー界に貢献する。

NiFAの目標 2050
2050年に向けて、組織発展をさらに推進するものとし、2050年までに以下の目標を達成する。
①新潟県サッカー協会に10以上のクラブチームを創出する。
②新潟県サッカー協会の健全な発展を促すこと。県の発展に貢献する選手を輩出する。
③JFLに加盟するチームを増やす。
④サッカーの普及に努め、県民の心を豊かにする。
⑤新潟県サッカー協会の発展を促し、国内のサッカー界に貢献する。

事務局より

事務局の人事異動がありましたのでお知らせいたします。

採用 永塚 博

平成25年10月21日付
事務局業務体制強化のため